オンラインツアー
大友と立花
歴史の絆

九州の名門が紡ぐ戦国史

国指定重要文化財「大友家文書」「立花家文書」を紐解き、大分と柳川を結んでリアルタイムにお届けするミュージアムオンラインツアー

日時

2024年**2**月**17**日 土
15:00～16：30

解説

大分県立先哲史料館　研究員
松尾 大輝 氏
柳川古文書館　学芸員
白石 直樹 氏
立花家史料館　館長
植野 かおり

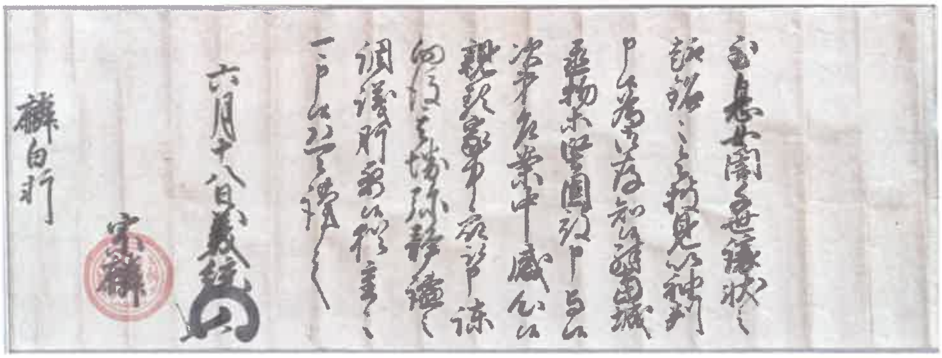
チケット

お一人様ワンアカウント
3,000 円 （税込）
柳川の焼き海苔
豊後高田の蕎麦
解説ブックレット付

パスマーケットでチケット販売中

主催
公益財団法人立花財団　立花家史料館

大友宗麟書状（個人蔵、大分県立先哲史料館寄託） 永禄11年（1568）
立花鑑載の「逆心」の企てに対応し、防戦した家臣を賞賛した大友宗麟の手紙



大友義統・宗麟連署状（重文「立花家文書」立花家史料館蔵、柳川古文書館寄託）
戸次道雪が立花城督を娘闇千代にゆずる旨を記した譲状を主君である大友義統・宗麟に送り、天正3年6月18日付けで義統・宗麟がその内容を承認した手紙
ここに戦国時代でもまれな女城主が誕生することになる

国宝 短刀 銘 吉光

立花貞載が足利尊氏より拝領と伝わる

近世大名立花家ルーツは、豊後の守護大名大友家に深く関わっています。西国諸将の名門武家であった大友家の興亡と近世大名家として唯一その歴史を受け継いできた立花家の歴史物語を、大分と柳川の二つの施設を結んでお届けいたします。

大分市から大分県立先哲史料館の研究員松尾大輝氏、柳川市から柳川古文書館の学芸員白石直樹氏による「大友家文書」と「立花家文書」（重要文化財）、そして先哲史料館所蔵文書から紐解く歴史を解説。あわせて、立花家史料館所蔵の、国宝 短刀 銘吉光や近年修復された大友氏ゆかりの軍旗、戸次道雪の刀（雷切丸）もご紹介。

生配信ならではのリアルタイムの質問へも可能な限りお答えいたします。またとないこの機会にぜひご参加下さい。

当日ご視聴が出来なかった場合も、チケットご購入の皆様は、後日アーカイブでライブを視聴いただけます。

ツアーご参加の皆様へは、立花宗茂の生誕地豊後高田市と領地柳川市それぞれの特産品「豊後高田そば（なまそば）」と「【新のり】皿垣開漁協産 焼きのり」そしてフルカラー解説ブックレットをお送りいたします。